

コートダジュール大学  
BESIGN The Sustainable Design School 交換留学  
月例報告書 (5 月分)

鈴木 梨恵琉

五月一日。この日フランスでは大切な人にスズランを贈り、その人の幸運を祈る習慣があるようです。借家のオーナーさんからスズランの画像が送られてきて、数か月前はとても心配していましたが良い関係が築けていることに嬉しく思いました。休日明けに学校へ行くといくつかのスズランがテーブルに置いてありました。

日本でも有名なカンヌ映画祭。Cannes は電車で約 30 分の距離にあります。今回、会場に入るチケットは無かったのですが、映画祭中のカンヌの雰囲気を感じたいと思い、訪れました。遠くからですが綺麗なドレスを纏ってレッドカーペットの上を歩く人達を見ました。浜辺に大きなスクリーンが設置されており、夕方から無料で映画鑑賞会に参加できるスペースもあります。

Côte d'Azur には Nice だけではなく数多くの素敵な村があります。五月は花が咲き、より美しいフレンチの街並みがより華やかになります。その中でも香水の産業で有名な Grasse というところで、三日間の薔薇のお祭りが開催されていました。薔薇は好きな花のひとつです。ピンクの傘が飾られ、あちこちに薔薇の花が見られます。三日間とも雨予報でしたが、足を運んだ最終日は途中から太陽が顔を出し、より美しい街並みをめぐることができました。



またフランス第三の都市であり、港町ある Marseilles にも行きました。Zou card という電車の 1 年間パスの無料範囲内で約 2 時間半の電車旅になります。マルセイユ石鹼で有名なため、歩いているとふと石鹼のいい香りが漂ってきます。

今月は、初めて映画館に行き日本のアニメ映画 Suzume (すずめの戸締り) を見ました。日本語音声にフランス語字幕がついているバージョンを日本人とフランス人の友達と見に行きました。日本のアニメにも関わらず幅広い年齢層が鑑賞していたこと、上映

中は基本静かですが、それぞれ面白いと感じた場面でチラホラ笑い声が聞こえてくるのが印象的で、海外でどんな風にアニメが受け取られているかを感じる良い体験でした。

学校生活、Partnership では出し合ったアイデアをまとめた二回目の中間プレゼンテーションが五月の中旬にありました。プレゼンテーションの前日まで、なかなか意見がまとまらなかつたり変更が続いたり大変でした。担当の先生の提案などから、AI も大いに活用し、アイデアの説明やプレゼンテーションに AI が生成した画像を使用しました。この学校で AI の授業などもありましたが、私自身は実際に自分のデザインに AI を使ったことがなかったので、今回の流れと内容は新鮮でした。

先月から今月にかけて Biomimicry というオンラインの授業があり、毎回の授業で約 20 分、身近な自然を見て観察したり考えたりする時間が設けられます。もともと植生の違いなどに興味があるのでとても楽しく、またそれをデザインに活かしていくためのエクササイズなど実践的に学べる良い授業でした。

また、そろそろ留学生活が終わってしまうのだと感じることが多くなりました。とは言え、仲を深めた友達たちはあと一年間ここでの生活があるため、寂しいとかそういう気持ちは薄いのかなと漠然と思っていましたが、ある日友達からふと「帰ってしまうことを考えないようにしている」と言われて、急に寂しさが倍増してしまいました。本当に、あっという間に二学期は終わりに近づいています。



先月行けなかった Biot にあるガラス工房が開いていて訪れると、偶然デモンストレーションが始まるころでした。たくさんの職人がこの工房に所属していて、年齢が若い人も多いため少し驚きました。複数人で協力しながら、吹きガラスでサッカーボールサイズの作品を作っていました。とても開かれた工房で、デモンストレーションを見に沢山の人が訪れていました。地域にこういった工房があることは、とても素敵です。

五月後半は、もうすっかり夏になってしまいました。カラッとしていて心地よい風が常にあるので、室内や日陰だとまだ肌寒い…という時期が個人的には長かったです。友達と比べていつも厚着をしていた、なかなか衣替えができなかった私もついに半袖一枚で歩ける気候になり、より南仏らしさを感じられます。